



ROTAX
RMC
GRAND FINALS

PORTIMÃO

PORTUGAL

NOV 07-14, 2026

TECHNICAL REGULATIONS

MICRO MAX | MINI MAX | E10 | E20

暫定版 (V1_ASNの承認が必要)

Supported by:

#mojo

XPS

BELL
Helmets

SODI

birelart

Praga

DELLORTO

© 2026 BRP-Rotax GmbH & Co KG. All rights reserved. and TM and the BRP logo are trademarks of Bombardier Recreational Products Inc. or its affiliates. All other trademarks are the property of their respective owners.



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

A. 125 マイクロマックス / 125 ミニマックス クラス.....3

B. E20 シニアおよび E20 マスターズ12

電動パワートレインの技術仕様15



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

A章は、125マイクロMAXおよび125ミニMAXの技術規則に関するものです。

B章は、E20シニアおよびE20マスターの技術規則に関するものです。

C章はE10ミニ技術規則に関するものです。

本競技会は、RMCGF 2026技術規則（マイクロマックス／ミニマックス）に従って実施されるものとする。
/ E20 シニア / E20 マスターズおよび公式速報と:

- ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2026 技術規則および公式速報
- ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2026 競技規則および公式速報 • ROTAX MAX CHALLENGE GRAND FINALS 2026 補足規則 • CIK/FIA カート技術規則および公式速報

イベント主催者は、技術規則の変更を行う権利を有し、変更後の規則は公式公報として公表されます。

英語版が公式版です。

この文書の見出しは、参照の便宜のためにのみ設けられたものであり、これらの技術規則の一部を構成するものではありません。

A. 125 マイクロマックス / 125 ミニマックス クラス

1. 設備

イベント中に使用できる唯一の装備品（カート本体とタイヤ）は、主催者から貸し出し形式で提供され、本規則およびその付属文書に準拠していなければなりません。

1.1. 機器の数量

RMCGF 2026技術規則第2.1条によれば、

1.2. シャーシ、ブレーキシステム、ボディワーク

RMCGF 2026技術規則第2.2条によれば、

各カテゴリーにつき、入札によって決定される単一ブランドのシャーシ。

各クラスのブランドは以下のとおりです。

125 Micro MAX: Praga – IPKarting

125ミニMAX : シャルル・ルクレールカート – BirelART

1.2.1. フロントフェアリング

- CIK 特定規定第 31 条および CIK 技術図面 No 3.2. および 3.2.1 に従い、車体認証の認証済みフロントフェアリングおよび認証済みフロントフェアリングマウントキットの使用は、すべてのカテゴリーで義務付けられています。
- 各カートには適切なフェアリングとマウントキットがエントリー者/ドライバーに提供され、使用可能な部品のみ。
- CIK一般規定第2.3.3条の取り付け、設置、点検に関する規定、違反行為の報告および罰則の適用は、全面的に実施されます。

1.3. タイヤ

1.3.1. タイプ:

乾	Mojo C2 CIK Mini	フロント 4.0 x 10.0 – 5	リア 5.0 x 11.0 – 5
乾燥	Mojo CW CIK Mini	フロント 3.6 x 10.0 – 5	リア 4.5 x 11.0 – 5

潤滑1.3.2. 各カテゴリーの数量

1. ドライタイヤ:

マイクロマックス

- イベント全体で1セット（パルクフェルメなし）。ただし、スチュワードはいつでも、パルクフェルメのタイヤ。

ミニマックス

- 1セットは、資格要件を満たさない診療所（パルク・フェルメ認定を受けていない診療所）用です。





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

- 1セットは予選から決勝まで（パルクフェルメなし）用です。ただし、スチュワードは、いつでも、タイヤをパルクフェルメに保管するため。

2. 濡れたタイヤ：

- 非資格練習（parc fermé）には、MOJO CW CIK Mini が最大 1 セット配布されます。状態）。
- 主催者は、予選練習用にウェットタイヤをもう1セット配布するかどうかを決定する権利を保持する。決勝戦まで。このセットは展示場に設置され、閉鎖された場所に保管されます。
- 各カテゴリーにつき、イベント全体で最大2セットまで利用可能です。配布は雨の場合。

3. タイヤの流通と使用状況：

- シャーシ抽選会の後、最初のスリックタイヤセットが配布されます。このセットは、資格要件を満たさないすべての診療所を対象としたイベント。
- 最初のセットから一定数の使用済みタイヤ（カテゴリーによって異なる）は、パルクフェルメに保管されます。• 非予選ブラクティスの最終セッション後、各ドライバーは新しいスリックタイヤセットを受け取ります。このタイヤは、決勝を含む予選フェーズで使用しなければなりません。このセットの各タイヤには、バーコードとスタート番号が付けられています。
- 各ドライバーは、スタート番号のマーキングが外側から見えることを確認する責任があります。そうでない場合は、タイヤを再マーキングするためにパルクフェルメに持ち込む必要があります。• 雨の可能性が高い場合は、リム付きのウェットタイヤが時間通りに配布されます。各タイヤは、これらのセットにはバーコードと開始番号が記載されています。
- タイヤの機械的故障の場合、故意または誤用による故障でない限り、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤをそれぞれ最大1本（ウェットタイヤとドライタイヤ）まで交換できます。タイヤの機械的故障の場合、技術検査官は、故障が材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。技術検査官の決定は最終的なものであり、異議申し立てや上訴はできません。
- 故障が故意または誤用によって引き起こされたものでない場合、以下のルールが適用されます。
すべてのカテゴリーにおいて、非予選練習中または予選前には新品タイヤが交換用として提供されます。予選ヒート、プレファイナル、ファイナルでは、使用済みタイヤ（摩耗率が同程度）が交換用として提供されます。

1.3.3.すべてのタイヤにはバーコードが付いており、指定されたドライバーのみが使用できます。

- タイヤのバーコードステッカーが本物でない、または改ざんされていることが証明された場合、ドライバーは失格となります。イベントから。
- スタートサービスパークの入口で、検査員がバーコードステッカーを確認し、バーコードステッカーが改ざんまたは変更された疑いがある場合は、直ちに主任検査員に報告します。この時点から、主任検査員による最終決定が下されるまで、ドライバーとカートはスタートサービスパークへの立ち入りが禁止されます。
- 予選練習またはレース後のスポーツチェック中に、カートのタイヤに純正品以外のバーコードステッカーが1枚でも貼られていることが判明した場合、そのカートはイベントから失格となります。• スタートサービスパークの入り口で、レース用に割り当てられたタイヤと異なるタイヤを1本以上装着したカートを示したドライバーは、正しいタイヤを装着したカートを示し、かつイベントの公式タイムスケジュールで定められた規定時間内にグループがサービスパークに入るまで、入場を許可されません。

1.3.4.タイヤは、登録され、定期的にドライバーに割り当てられます（イベント期間中は貸与ベースで）。

Rotax EMS（イベント管理システム）によってチェック／スキャンされます。

1.3.5.タイヤの改造や化学処理は一切禁止です。タイヤの検査は「タイヤスニファー」Mini-RAE-Liteで行います。最大値は4ppmです。この値を超えた場合は、2回目の検査が行われます。それでも値が4ppmを超えた場合は、ドライバーはイベントから失格となります。

1.3.6.タイヤは、タイヤに定められた回転方向に従って装着しなければならない。

1.4. エンジン

RMCGF 2026技術規則第2.4条によれば、

125 Junior MAXエンジンは、125 Micro MAXおよび125 Mini MAXのエンジン構成のベースとなっている。





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

1.5. 機器の返却

RMCGF 2026技術規則第2.5条によれば、

1.6. データ取得

RMCGF 2026技術規則第2.6条によれば、

1.7. 安全装備

RMCGF 2026 - マイクロ / ミニ / E10 / E20 S / E20 M 競技規則の第 10.6 条によれば、

1.8. 燃料/オイル

レース期間中は、パルクフェルメを通じてプレミックス燃料が提供されます。

1.9. エンジンへの広告掲載

エンジンおよびエンジン付属品には、ROTAX、BRP、MOJO、XPS以外のスポンサーステッカーを貼ることは許可されていません。

2. 変更、法的追加事項、非技術的項目、寸法

RMCGF 2026技術規則第3条によれば、

3. ロータックスカートの技術仕様（エンジンおよびキャブレターシール以外）

エンジンおよびキャブレターシール以外のすべての部品については、競技者はRMCGF 2026技術規則への適合性を保証する責任を負います。

3.1. 点火システム

RMCGF 2026技術規則の第4.6条によると、

電子制御ユニット（ECU）にはステッカーが貼られており、ステッカーが読み取れない、または剥がれていても合法です。

125マイクロMAX：「666815」

125ミニマックス：「666818」

ECUは、以下の手順に従ってECUテスター（Rotax 276230）を使用してチェックする必要があります。

エンジンケーブルハーネスをECUから取り外します。

ECUテスターケーブルハーネスをECUに接続します。

ECUテスターケーブルハーネスの電源ケーブルを、エンジンケーブルハーネスの充電コネクタに接続します。

バッテリーとの接続のたびに、ECUテスターのソフトウェアバージョンがディスプレイに約2秒間表示されます。

ディスプレイに表示されるソフトウェアバージョンは2V00でなければなりません。

ECUテスターの「✓」ボタンを押してテストを開始してください。

約3秒後、実際にテストされているECUの種類がディスプレイの2行目に表示されます。

約30秒後、テストの結果がディスプレイの最初の行に表示されます。

ECUテスターは以下の結果を表示しなければならない。

125マイクロMAXカテゴリー

666815MAX

!! テストOK !!

125 ミニマックス カテゴリー

666818MINIMAX

!! テストOK !!





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

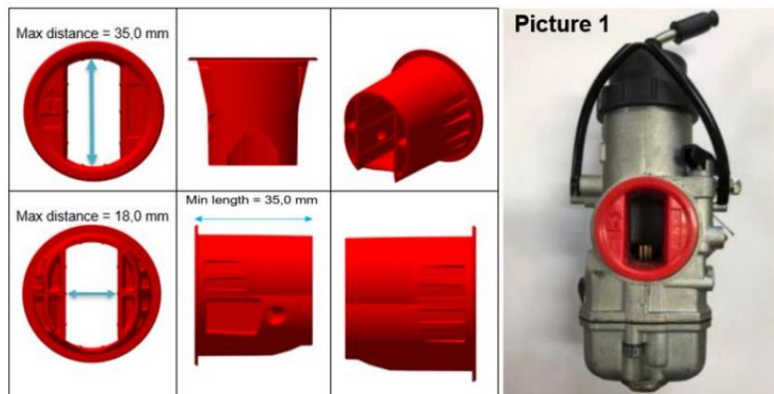
3.2. キャブレター

RMC GF 2026技術規則の第4.9条によると、

125 Micro MAXクラスと125 Mini MAXクラスでは、スロットルボディリストラクターは常にキャブレター本体に完全に挿入され、正しい向きになっている必要があります（参考として、下の図1を参照）。

ROTAX部品番号 :267536

改造は一切認められません。吸気口のリップ付き表面は、寸法が変更されていないことを確認するためのものです。



3.3. ラジエーター

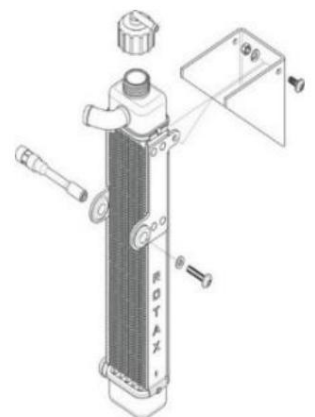
ラジエーターは、それぞれの図に示されているとおりに、すべての部品を取り付けて設置する必要があります。

ラジエーターの周囲にテープ（広告のない無地のテープのみ）を貼ることは、ラジエーターを通る空気の流れを制御するための許可された改造です。

サーキット走行中は、ラジエーターからテープを剥がしてはいけません。

ラジエーターを通る空気の流れを制御するための、純正品以外の装置の使用は禁止されています。

図に示されているバージョンのみが合法的に使用できます。



元のフラップを取り外すことは許可されていません。

3.4. 排気システム

3.4.1. 排気ソケット

ガスケットリング付きの排気ソケットのみ使用が合法です。

直径 (A)は、少なくとも12mmの長さ (B)に対して適用されなければならない。

排気口の最大内径 (A) :

125 Micro Max: 18.20 mm (Rotax 部品番号 273 192) 「Micro」と表示

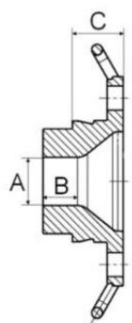
125 Mini Max: 22.10 mm (Rotax 部品番号 273 196) 「Mini」と表示

測定値 (C)は少なくとも18.5mmでなければなりません。

排気ソケットをいかなる方法であれ変更または改造することは固く禁じられています。

注 :すべての排気口は、イベント開催前にROTAXによって事前に測定され、上記の許容範囲内であることが確認されています。競技参加者は、これらの規定を遵守する責任があることをご承知おください。

ROTAXまたは技術検査員は、イベント開催期間中いつでも排気ソケットまたはその構成部品を検査または交換する権利を留保します。





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

排気ソケットの内部形状は、テンプレートRotax 277 405を使用して確認する必要があります。

テンプレート（125 Micro MAX “18 mm”、125 Mini MAX “22 mm”）を、ガスケットなし、カーボン堆積物除去済みの状態で、排気ソケットにできるだけ奥まで差し込みます。排気ソケットの形状とテンプレートの形状の間には、常にわずかな隙間がある状態が理想です。



3.4.2. 排気管

- 排気管はイベント前にROTAXによって密閉されます。
 - 競技者は、排気管またはその構成部品のシールを破ったり、いかなる方法であれ改造したりすることは禁じられています。• ROTAX
- または技術検査員は、イベント期間中いつでも排気管またはその構成部品を検査または交換する権利を有します。
- 3つの固定具（リベット、ボルト、ロックナット）は、穴あきチューブと排気システム間の密閉性を確保するために、常にしっかりと固定する必要があります。穴あきチューブは排気システムに完全に挿入する必要があります（右上図を参照）。穴あきチューブの外側シールリングが外側に突き出ている状態は禁止されています（赤い矢印で示されています）。
- シールは4つ目の穴（最大直径4mm）に通す必要があります。穴は右図に示すように、排気ガスの漏れを防ぐ位置に開けてください。穴の開いたチューブは、常に3箇所で排気管にしっかりと固定してください。



以下の用途には、専用の排気システムを使用する必要があります。

125 Micro MAX: Rotax部品番号 273 136

125 Mini MAX :Rotax部品番号273 137

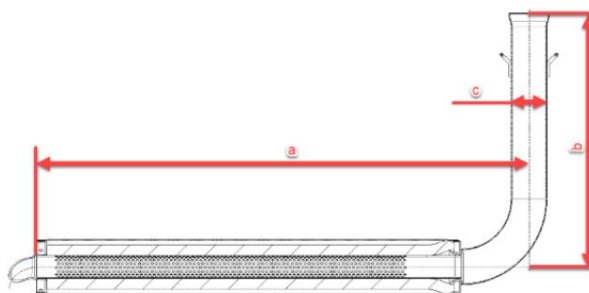
排気管の外装は両バージョン共通の部品です。違いは内部部品にあります。

サイレンサーは、90°エルボ出口（排気ガスの方向）の方向がシャーシのどの部品にも損傷を与えない位置に取り付ける必要があります。

排気管は、排気口とガスケットリングの周囲が完全に密閉されるように取り付け、固定する必要があります。

下図の測定値は以下のとおりです。

- (a) 580 mm $\pm$ 5 mm
- (b) 299 mm $\pm$ 5 mm
- (c) 42 mm $\pm$ 3 mm

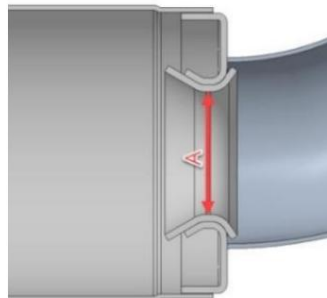




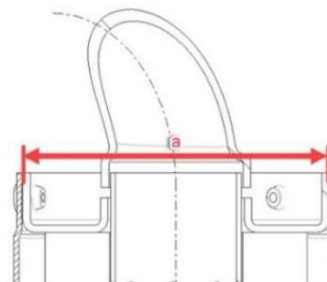
TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

幅28.0mm、厚さ1.5mmの平板は、セクション「A」を通過してはなりません（内部排気部品は事前に取り外す必要があります）。また、直径26.0mmの鋼球は、下記の図のセクション「A」を入口から90度エルボまで完全に通過できる必要があります。すべての排気ガスは、常にセクション「A」を通過しなければなりません。



下図の排気システムサイレンサー端部（a）の内部寸法は最大63.0mmでなければならない。



（注：これは穴あきチューブの寸法ではありません）

排気管は、頑丈なマウントを使用してシャーシにしっかりと固定する必要があります。

排気装置は、2つのROTAXサイレントブロック（部品番号660920および/または260657が使用可能）を使用して、固定マウントに取り付ける必要があります。

2つのサイレントブロックの偏向のみが、許容される排気動作です。

排気管は、2つのサイレントブロックに負荷がかからないように、中立位置に取り付ける必要があります。

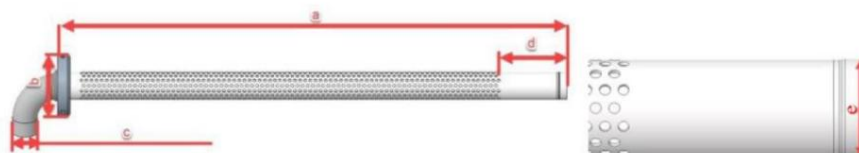
125マイクロMAX穴あきチューブ

ROTAX部品番号 :273212

下図の寸法は次のとおりです。(a) 少なくとも 498 mm (b) 最小外径 61 mm

(c) 最大外径 26 mm (d)

最小長さ 63 mm (e) 最小外径 26.0 mm



125 Micro MAXに使用できる唯一の合法的なアイソレーションマットは以下のとおりです。

ROTAX部品番号297982

新サイズ最小値 :480 x 270 mm (±10 mm)

新重量 :207g (176g~238g)

使用重量最低140g

使用重量最大350g

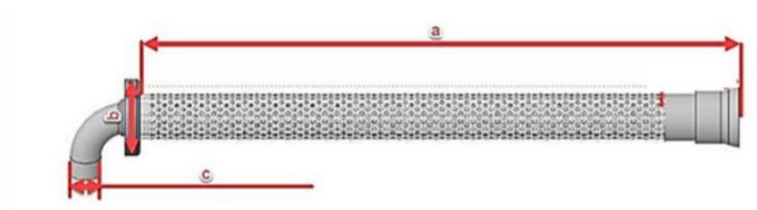


TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

125ミニマックス穴あきチューブ
ROTAX部品番号273211

下図の寸法は以下のとおりです。(a) 最低480 mm (b) 最小外径61 mm (c) 最大外径26 mm



注：

Mini MAXの穴あきチューブには、外側に刻印された識別マーク「O」があります。
細かいメッシュは、穴あきチューブの小さな穴すべてを覆わなければならない。



125 Mini MAXに合法的に使用できる防振マットは以下のみです。
ROTAX部品番号297985

新サイズ最小値 :490 x 180 mm (±10 mm)
新重量 141g (119g - 163g)
使用重量最低110g
使用重量最大350g



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

4. シャーシ、エンジン、キャブレター、および駆動系オプションに対する許容される調整

125マイクロMAX – プラガ – IPKarting

番号	品目	仕様
1	最初のフリー走行では、キャブレター調整とギア比調整が必須です。	114 メインジェットを取り付ける必要があります フロントスプロケット14T、リアスプロケット66T、「IPK Engineering」の刻印あり ご注意ください :適切なメインジェットを取り付ける必要があります
2	第2回フリープラクティスから決勝までのキャブレターとギアリングのオプション	付属のキットに含まれるメインジェットはどれでも使用できます。 (105、106、107、108、109、110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120) フロントスプロケット14T、リアスプロケット66Tまたは65T
3	スパークプラグの種類とギャップ	NGK GR8DI。ピッチング1.20mmは2つの電極の間には入らないようにしてください。
4	チェーンの長さの種類	イベントでROTAXが提供したチェーンのみ使用可能です。チェーンの長さ102、0リングなし。
5	車高	フロント&リア :シャーシは完全に下げた状態では使用できません。その他の高さ設定はすべて可能です。
6	アッカーマン設定	すべての設定が許可されています
7	シート固定	すべての固定具はしっかりと固定する必要があります。 IPK社から供給されるアルミニウム製シートプレートは、シートとすべての支柱の間に取り付ける必要があります。
8	車軸ベアリングサポート	いかなる場合でも、シャーシに付属しているメーカー純正のネジ（M8ネジ4本）を使用することが必須です。
9	リアバンパー	垂直方向への移動は許可されているが、水平方向への移動は許可されていない。
10	排気サイレンサーブラケット	メーカーが供給した状態のまま使用してください。高さや位置を変更することはできません。
11	オプションパーツ	調整可能なステアリングホイールハブ、傾斜した追加プレート1枚、調整可能なフットレストシステム（すべての部品にIPKエンジニアリングのマークが付いている必要があります）。シートパッドキット。

2回目のフリープラクティスから、 ROTAXの推奨設定 :ジェット114、ニードル位置3、スパークプラグギャップ
1.15mm、エンジン温度85°C

注 :RMC GF 2026技術規則およびその付録に従い、イベントでメーカーから特定のカテゴリ向けに提供される標準コンポーネントのみを使用できます。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

II. 125ミニMAX – シャルル・ルクレールカート – BirelART

番号 品目	仕様
1	最初のフリー走行では、キャブレター調整とギア比調整が必須です。
2	118 メインジェットを取り付ける必要があります フロントスプロケット13T、リアスプロケット64T ご注意ください :適切なメインジェットを取り付ける必要があります
2回目のフリープラクティスから2つのキャブレターと ギアリングオプション 決勝戦	付属のキットに含まれるメインジェットはどれでも使用できます。 (110、111、112、113、114、115、116、117、118、119、120) フロントスプロケット13T、リアスプロケット63、64、65T
3	スパークプラグの種類とギャップ NGK GR8DI。ピンゲージ1.20mmは2つの電極の間には入らないようにしてください。
4	チェーンの長さの種類 イベントでメーカーから提供されたチェーンのみ使用可能です。チェーンの長さ96、0 リングなし
5	車高 前面 :すべての設定が許可されています 背面 :すべての設定が可能
6	キャンバーとカスター キャンバー :すべての設定が可能 カスター角 :0、0.5、1、2度まで調整可能。すべての調整は上部のカスターピルを使用し て行い、下部は標準のままにしておく必要があります。すべての設定が可能です。
7	アッカーマン設定
8	シート固定 すべての固定具はしっかりと固定する必要があります。IPK社から供給されるシートプレートは、シ ートとすべてのサポートの間に取り付ける必要があります。
9	その他の注記 調整可能なステアリングホイールハブまたは一体型ハブ。傾斜した追加プレート/調整 可能なフットレストシステム/シート用サイドプロテクションキット
10	リアバンパー 水平方向ではなく垂直方向に移動できます

2 番目の非適格診療からROTAX は以下を推奨します: ジェット 118、ニードル位置 3、
スパークプラグのギャップは1.15mm、エンジン温度は65°C。

注 :RMC GF 2026技術規則およびその付録に従い、イベントでメーカーから特定のカテゴリ向けに提供される標準コンポーネントのみを使用できます。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

B. E20 シニアクラス / E20 マスタークラス

1. 設備

イベント中に使用できる唯一の装備品（カート本体とタイヤ）は、主催者から貸し出し形式で提供され、本規則およびその付属文書に準拠していなければなりません。

1.1. 機器の数量

RMCGF 2026技術規則第2.1条によれば、
1台のROTAXプロジェクトE20車両

*
ROTAXレースの運営責任者は、必要に応じて、またイベントのチーフ検査官と連携して、技術的な理由または事故による損傷のために、車両またはパワートレイン部品の交換を許可する場合があります。

1.2. シャーシ、ブレーキシステム、ボディワークおよび後輪保護システム

この機器は、以前のCIK認証を取得しています。
Rotax社が供給する単一ブランドのシャーシ、SODI。
シャーシは、登録され、定期的にドライバーにランダムに割り当てられます（イベント期間中の貸出ベース）。
Rotax EMS（イベント管理システム）によってチェック／スキャンされます。

シャーシは、RMCGF 2026技術規則およびその付属文書に準拠していなければならない。
後輪が車体側面の内側にあることは許容される。

リアホイールベースの最小値は、最も幅の広い部分で1340mmです。

最大後輪ホイールベースは、最も幅の広い部分で1400mmです。

ROTAX社製のロングリアハブ（アルミ製リアハブ D50 L90 K8 PC0252.528）は、ウェットタイヤとリムとの組み合わせでのみ使用が許可されています。

チーフストウルティネアは、例えばドライバーの身長がカートに適切に収まらない場合など、シャーシの変更を許可することがある。

すべてのシャーシには、固有のシリアル番号（バーコード）が記載されたシャーシシールが貼付されています。

イベント期間中、ドライバーはROTAX E20レースマネージャーまたは技術検査官の承認を得た場合にのみ、Project E20車両を変更できます（この決定は、部品の故障または事故による損傷の場合にのみ下されます）。この場合、フレームおよびその他の必要な部品の費用は前払いとなります（価格はイベント前にメーカーの価格表で決定されます）。

シート

- RotaxまたはSODI Kartが供給する純正シートのみ使用可能です。
- 規定に従ってシートを取り付けるのは、ドライバー／参加者の責任です。
- シートの固定用ネジとナットはすべて、常にしっかりと取り付けられ、締め付けられている必要があります。
- 追加のシートステー（サポート）は、シャーシに取り付けて締め付けるか、取り外す必要があります。
- フレームに溶接されたシートサポートは、Rotaxの許可がある場合を除き、曲げてはならない。
- リード線は座席にのみ取り付けてください。

車軸：使用できるのは、RotaxまたはSODIが供給した純正のリア車軸のみです。

- 後車軸の切断は禁止されています。
- 後車軸に物を詰め込むことは禁止されています！
- スタブアックスルの調整はカバー対象外です。

スタビライザーとスリーブは、常に両端をシャーシに取り付けて締め付けておく必要があります（位置は自由です）。

ステアリングホイールは、ROTAXが供給／指定する標準またはオプションの材料を使用して、ドライバーに合わせて任意の高さに取り付けることができます。ステアリングシャフトを切断することはできません。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

フロアトレイ :シャーシプロテクターを含め、すべてのネジとナットは常に正しく取り付けられ、しっかりと締め付けられている必要があります。

- データ取得センサーは、フロアトレイの固定ネジのいずれかに取り付ける必要があります。
- フロアトレイに穴を開けることは許可されていません。
- フットレストを取り外すことは、認められた調整です。

リアバンパーを支える2つの支柱は、常にフレームにしっかりと固定されていなければなりません。リアバンパーのネジは、リアバンパーが上下に動くようにするためだけに緩めておくことができます。

グランドファイナルで使用するブレーキパッドは、シャーシメーカーまたはROTAX社から供給された純正品のみ使用可能です。

リムを含む部品は、ROTAXまたはSODIが元々供給したもののみ使用可能です。

法的に認められたオプション部品 :

- ペダルが短い。
- ブレーキロッドを短くする。
- 角度のついたステアリングホイールボス。
- 調整可能なステアリングホイールボス。

フロントフェアリング

RMCGF 2026技術規則の第2.2.17条によると。

1.3. タイヤ

各カテゴリーの数量

1. ドライタイヤ: MOJO D5 CIK Prime Mojo

- 1セットは、資格要件を満たさない診療所 (パルク・フェルメ認定を受けていない診療所)向けです。
- 1セットは予選から決勝まで (パルクフェルメ対象外)に使用されます。

2. ウェットタイヤ :MOJO W5 CIK

- 資格を満たさない医療機関には、最大1セットまで配布されます。
- 主催者は、予選から決勝まで、ウェットタイヤの2セット目を配布するかどうかを決定する権利を保持します。

•各カテゴリーにつき、イベント全体を通して最大2セットまで配布されます。配布は雨天時 (パルク・フェルメ開催時)のみとなります。

3. タイヤの流通と使用

•最初のスリックタイヤセットは、シャーシ抽選会の後に配布されます。このセットは、予選以外のすべての練習走行でイベント期間中使用されます。

- 最初のセットから一定数の使用済みタイヤ (カテゴリーによって異なる)がパルクフェルメに保管されます。
- 予選以外の練習走行の最終セッション後、各ドライバーには新しいスリックタイヤ一式が支給されます。このタイヤは、決勝を含む予選段階で使用しなければなりません。このタイヤ一式には、バーコードとスタート番号が印字されています。

- 各ドライバーは、スタート番号のマーキングが外側から見えることを確認する責任があります。見えない場合は、タイヤをパルクフェルメに持ち込んで再マーキングを受けなければなりません。
- 降雨の可能性が高い場合は、ウェットタイヤとリムが適切なタイミングで配布されます。予選以外の練習走行用に提供されるウェットタイヤ、および決勝までの予選練習走行用に提供されるウェットタイヤは、常にパルクフェルメ内に保管する必要があります。これらのタイヤセットには、それぞれバーコードとスタート番号が印字されています。
- タイヤの機械的故障の場合、故意または誤用による故障でない限り、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤをそれぞれ最大1本 (ウェットタイヤとドライタイヤ)まで交換できます。タイヤの機械的故障の場合、技術検査官は、故障が材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。技術検査官の決定は最終的なものであり、異議申し立てや上訴はできません。

- 故障が故意または誤用によって引き起こされたものでない場合、以下のルールが適用されます。
 - o すべてのカテゴリーにおいて、フリー走行中または予選前に、交換用として新しいタイヤが提供されます。
- 予選ヒート、準決勝、決勝では、摩耗率が同程度の使用済みタイヤが交換用として提供されます。

すべてのタイヤにはバーコードが付いており、指定された運転手のみが使用できます。





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

タイヤは（イベント期間中の貸出という形で）ドライバーに割り当てられ、Rotax EMS（イベント管理システム）によって登録され、定期的に点検・スキャンされます。

タイヤの改造や処理は一切禁止です。タイヤの空気濃度は「タイヤスニファー」Mini-RAE-Liteで測定します。最大値は4ppmです。この値を超えた場合は、再度検査を行います。それでも4ppmを超える場合は、ドライバーは失格となります。

タイヤは、タイヤに表示されている回転方向に従って装着しなければなりません。

1.4. 電動パワートレインFIA CIK承認 065-AED-20に準拠。

1.5. 機器の返却 RMCGF 2026技術規則第2.5条によれば、

1.6. データ取得E20車両には ROTAX TRAXデバイスとカスタムMXMデータロガーが付属しており、このMXMデータロガーには絶縁監視システムと安全警告灯が組み込まれています。

提供されたデータロガーは、いかなる形であれ、改変または操作してはなりません。
データロガーのWi-Fi接続へのアクセスは、ROTAXのスタッフのみに許可されています。
ROTAXチームは、必要に応じていつでも、すべての車両のすべてのデータに完全にアクセスできます。

重要：ディスプレイをいかなる物で覆うことも固く禁じられており、隔離監視警告灯はいかなる時も視界を遮ってはなりません。

提供されたこれらのデータシステムを削除したり、いかなる形であれこれらのシステムを変更したりすることは禁止されています。

競技者が提供されたデータシステムに干渉したことが判明した場合、そのドライバー／競技者はイベントから除外されます。

ROTAXの判断により、運転手向けの印刷されたデータバックが提供される場合があります。この目的のため、すべての運転手のデータはいつでも共有される可能性があります。

1.7. 安全装備RMCGF 2026 – Micro / Mini / E10 / E20 S / E20 M スポーツ規則の第 10.6 条に従って。

1.8. プロジェクトE20車両への広告ROTAX、BRP、MOJO、 XPS以外のスポンサーステッカーは、電動パワートレインまたはそのコンポーネントやアクセサリには貼付できません。

2. 変更、法的追加事項、非技術的項目、寸法

電気パワートレインおよびその付属機器は、いかなる方法によっても改造してはならない。「改造」とは、形状、内容、機能において、当初設計された状態とは異なる状態となるような変更を指す。

ドライバー／競技者は、バッテリー充電器、電動パワートレイン、またはその付属品に対して、いかなる作業やメンテナンスも行うことは許可されていません。

競技者がパワートレイン部品または充電装置に干渉したことが判明した場合、そのドライバー／競技者はイベントから除外されます。

電動パワートレインまたはその付属品の作業は、資格を有するROTAX社の従業員のみ許可されています。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

3. 電動パワートレインの技術仕様

MOTOR

ROTAX社が設計した、伝動機構を内蔵した永久磁石同期モータ（PMSM）。

コントロールユニット：

専用に開発されたVCU（車両制御ユニット）。

バッテリー：リチ

ウムイオンバッテリー（BMS（バッテリー管理システム）およびIMD（絶縁監視装置）を含む）。

冷却システム：最適化され

た空冷と液冷を組み合わせた冷却システム。

システム電圧（公称値）

350V

電子ブレーキ／回生ブレーキ

無効化済み

ブースト機能：利用可能

（ROTAXによるプリセット）。運転者が操作します。

後退機能搭載。運転者が操作します。

認証

CIK-FIA承認済み 065-AED-20

デクラ

充電

AC / CEE16

4. パワー設定E20には3つのプリセット

トされたパワー設定があり、ROTAXが提供および制御する代替イグニッションキーを取り付けることで調整できます。

グリーンキー – ジュニアパワー設定

ホワイトキー – シニアパワー設定

オレンジ色のキー – 予選モード

「公式タイムトライアル形式の予選練習」では、許可されている出力設定は予選モード（オレンジ色のキー）のみです。

決勝までのレースのその他のすべての要素において、許可される唯一の出力設定はシニアパワーモード設定（白いキー）です。

レース前およびレース後には、技術検査官がROTAXレースマネージャーと協力して、車両、車両制御ユニット、キーシステムに対する技術チェックをいつでも実施できます。規則に定められたとおり点火キー/電源設定を操作したり使用していないことが判明した競技者は、イベントから除外されます。

5. 充電器と電源

使用できる電源および充電器は、ROTAX社が提供するもののみです。

各ドライバーには、作業台、充電器、専用のカートスタンドを備えたROTAX製テント内の専用スペースが割り当てられます。

運転手とチームメンバーは、作業エリアと日よけを常に清潔に保つ責任がある。

運転手とそのチームは、常にROTAXスタッフの指示に従わなければならない。





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

ROTAXが提供していない機器を充電器、電源、またはROTAX Project E20車両に接続することは固く禁じられています。ただし、イベントの競技規則で定義されているカメラは例外です。

運転手と指名された整備士は、必要な研修を修了し、ROTAXのスタッフから指示を受けた後、Project E20車両を充電システムに接続、充電、および切断することが許可されます。

6. シャーシ保護

シャーシ保護プレートは、供給された状態のまま取り付け、各走行セッションの前に必ず車両にしっかりと固定する必要があります。

ROTAXレースマネージャーおよびチーフ検査官は、保護プレートが取り付けられていない、または供給された状態のまま適切に固定されていない場合、カートのサーキットへの入場を拒否する権利を有する。

これらのシャーシ保護プレートは、レース後の技術検査／適合性チェックの対象品目ではありません。

シャーシ保護プレートが破損している場合、または固定されていない場合は、次の走行セッションの前に交換する必要があります。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

C. E10 ミニクラス

1. 設備

イベント中に使用できる唯一の装備品（カート本体とタイヤ）は、主催者から貸し出し形式で提供され、本規則およびその付属文書に準拠していなければなりません。

1.1. 機器の数量

RMCGF 2026技術規則第2.1条によれば、

1. ROTAX E10 Mini車両 ROTAX

E10 Miniの場合、パワートレインは2つのバッテリーパックが取り付けられて接続されている場合にのみ使用できます。

*

ROTAXレースの運営責任者は、必要に応じて、またイベントのチーフ検査官と連携して、技術的な理由または事故による損傷のために、車両またはパワートレイン部品の交換を許可する場合があります。

1.2. シャーシ、ブレーキシステム、ボディーワークおよび後輪保護システム

シャーシはPRAGA製で、IPKarting社が供給する仕様です。

シャーシは、イベント期間中の貸出という形でドライバーにランダムに割り当てられ、Rotax EMS（イベント管理システム）によって登録され、定期的にチェック／スキャンされます。

シャーシは、RMCGF 2026技術規則およびその付属文書に準拠していなければならない。

すべてのシャーシには、固有のシリアル番号（バーコード）が記載されたシャーシシールが貼付されています。

イベント期間中、ドライバーはROTAX E10レースマネージャーまたは技術検査官の許可を得た場合にのみ、E10ミニ車両を変更できます（この決定は、部品の故障または事故による損傷の場合にのみ行われます）。

この場合、フレームおよびその他の必要な部品の代金は前払いとなります（価格はイベント開催前にメーカーの価格表で決定されます）。

シート

- PRAGA社が供給したオリジナルのシートのみ使用が合法です。
- 規定に従ってシートを取り付けるのは、ドライバー／参加者の責任です。
- シートの固定用ネジとナットはすべて、常にしっかりと取り付けられ、締め付けられている必要があります。
- フレームに溶接されたシートサポートは、PRAGAの許可がある場合を除き、曲げてはならない。
- リード線は座席にのみ取り付けてください。

車軸 : PRAGA社が供給した純正リア車軸のみ使用可能です。

- 後車軸の切断は禁止されています。
- 後車軸に物を詰め込むことは禁止されています！
- スタブアクスルの調整はカバー対象外です。

ステアリングホイールは、PRAGAが供給／指定する標準またはオプションの素材を使用することで、ドライバーに合わせて任意の高さに取り付けることができます。ステアリングシャフトを切断することはできません。

フロアトレイ : シャーシプロテクターを含め、すべてのネジとナットは常に正しく取り付けられ、しっかりと締め付けられている必要があります。

- データ取得センサーは、フロアトレイの固定ネジのいずれかに取り付けする必要があります。
- フロアトレイに穴を開けることは許可されていません。
- フットレストを取り外すことは、認められた調整です。

リアバンパーを支える2つの支柱は、常にフレームにしっかりと固定されていなければなりません。リアバンパーのネジは、リアバンパーが上下に動くようにするためだけに緩めておくことができます。

グラウンドファイナルで使用するブレーキパッドは、シャーシメーカーが供給する純正品のみ使用可能です。

使用できる部品は、リムを含め、PRAGAが元々供給していたものに限られます。



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

フロントフェアリング

RMCGF 2026 – Micro / Mini / E10 / E20 S / E20 M 技術規則の第 1.2.1 条によれば、

1.3. タイヤ

各カテゴリーの数量

1. ドライタイヤ :Mojo C2 CIK Mini

- 1セットは、資格要件を満たさない診療所（パルク・フェルメ認定を受けていない診療所）向けです。
- 1セットは予選から決勝まで（パルクフェルメ対象外）に使用されます。

2. ウェットタイヤ :Mojo CW CIK Mini

- 資格を満たさない医療機関には、最大1セットまで配布されます。
- 主催者は、予選から決勝まで、ウェットタイヤの2セット目を配布するかどうかを決定する権利を保持します。

•各カテゴリーにつき、イベント全体を通して最大2セットまで配布されます。配布は雨天時（パルク・フェルメ開催時）のみとなります。

3. タイヤの流通と使用

•最初のスリックタイヤセットは、シャーン抽選会の後に配布されます。このセットは、予選以外のすべての練習走行でイベント期間中使用されます。

•最初のセットから一定数の使用済みタイヤ（カテゴリーによって異なる）がパルクフェルメに保管されます。

•予選以外の練習走行の最終セッション後、各ドライバーには新しいスリックタイヤ一式が支給されます。このタイヤは、決勝を含む予選段階で使用しなければなりません。このタイヤ一式には、バーコードとスタート番号が印字されています。

•各ドライバーは、スタート番号のマーキングが外側から見えることを確認する責任があります。見えない場合は、タイヤをパルクフェルメに持ち込んで再マーキングを受けなければなりません。

•降雨の可能性が高い場合は、ウェットタイヤとリムが適切なタイミングで配布されます。予選以外の練習走行用に提供されるウェットタイヤ、および決勝までの予選練習走行用に提供されるウェットタイヤは、常にパルクフェルメ内に保管する必要があります。これらのタイヤセットには、それぞれバーコードとスタート番号が印字されています。

•タイヤの機械的故障の場合、故意または誤用による故障でない限り、各ドライバーはフロントタイヤとリアタイヤをそれぞれ最大1本（ウェットタイヤとドライタイヤ）まで交換できます。タイヤの機械的故障の場合、技術検査官は、故障が材料の欠陥によるものか、故意または誤用によるものかを判断します。技術検査官の決定は最終的なものであり、異議申し立てや上訴はできません。

•故障が故意または誤用によって引き起こされたものでない場合、以下のルールが適用されます。

- o すべてのカテゴリーにおいて、フリー走行中または予選前に、交換用として新しいタイヤが提供されます。

予選ヒート、準決勝、決勝では、摩耗率が同程度の使用済みタイヤが交換用として提供されます。

すべてのタイヤにはバーコードが付いており、指定された運転手のみが使用できます。

タイヤは（イベント期間中の貸出という形で）ドライバーに割り当てられ、Rotax EMS（イベント管理システム）によって登録され、定期的に点検・スキャンされます。

改造やタイヤ処理は一切禁止です。タイヤチェックは「タイヤスニファー」Mini-RAE-Liteで行います。

最大値は4ppmです。この値を超えると、2回目の検査が行われます。それでも値が4ppmを超えた場合、ドライバーはイベントから失格となります。

タイヤは、タイヤに表示されている回転方向に従って装着しなければなりません。

1.4. 機器の返却

RMCGF 2026技術規則第2.5条によれば、

1.5. データ取得

ROTAXによって承認され、これらの規則で定義されているシステムのみが、専用のDeutschコネクタを介して元のE10ハーネスに接続することが許可されています。

承認されたデータシステムは以下のとおりです。

- ミクロン6
- ROTAX TRAXシステム

#MOJO

XPS

BELL

SODI

birelart

Peaga

DELORTO



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

- ROTAX E10 ステアリングホイールモジュール
- ROTAX BUDSおよびBUDS light
- ROTAX社製CANデータレコーダーモジュール（ROTAX社が必要とする場合は必須）

主任審査員およびROTAXスタッフは、競技期間中いつでも、すべての競技者のすべてのデータに完全にアクセスできます。E10ワイヤーハーネスの改造は固く禁じられています。

1.6. 安全装備

RMCGF 2026 – マイクロ / ミニ / E10 / E20 S / E20 M 競技規則の第 10.6 条によれば、

1.7. 駆動ユニットまたは付属品への広告掲載

電源ユニットやその他の部品には、付属のバッテリーに貼付されているオリジナルの「ROTAX Racing」ステッカーを除き、スポンサーステッカーを貼ることは許可されていません。

2. 変更、法的追加事項、非技術的項目、寸法

駆動装置およびその付属機器は、いかなる方法によっても改造してはならない。「改造」とは、当初設計された状態とは異なる形状、内容、または機能の変更を意味する。これには、本規則で特に許可されている場合を除き、パワートレインパッケージアセンブリへの部品および／または材料の追加および／または削除が含まれる。ブラケットやマウントなど、その目的のために特別に設計された要素の調整は、改造とはみなされない。

ねじ山の修理は許可されています。

別途指定がない限り、ROTAX E10専用に設計・供給された純正部品のみが合法です。

構成部品の全リストは、下記のリンクからご覧いただけます。

https://www.rotax-racing.com/assets/uploads/E10/IPC-Rotax_E10_2025-1.pdf

3. 技術仕様 ROTAX E10

3.1. ROTAX E10 MINI

使用可能な駆動ユニット（モーターとインバーター）は、ROTAX社が提供し、封印したROTAX E10のみです。

駆動ユニットは、ROTAX E10に付属していた純正部品と組み合わせて使用する必要があります。

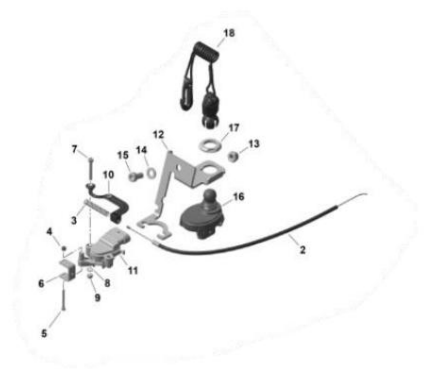
すべての装備品は、イベントの検査官の基準を満たさなければなりません。

イベントでは、ROTAXが提供する純正部品のみ使用が許可されています。

3.2. DESSキー端末

すべての部品は、図解に従って取り付けなければなりません。

必要に応じて、アダプタープレートを使用して取付プレートの高さを調整することができます。



3.3. ファームウェアおよび電源設定の検証

ROTAX E10には、あらかじめプログラムされた出力設定が搭載されていますが、ROTAXが提供する代替のDESSキーを取り付けることで、これらの設定を調整できます。

オレンジ色のDESSキー – バンピーニ電源設定 – マッピングA

グレーのDESSキー – ミニ電源設定 – マッピングB

グリーンDESSキー – ハイパフォーマンスモード – マッピングC

注：イベントで許可されている唯一の電源設定は、グレーのDESS key – Mini電源設定 – マッピングBです。

運転ユニットの車検手順





TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

1. BUDS ドングルと診断ケーブルをケーブルハーネスのDeutschコネクタに接続します。
2. USB端子をPCに接続します。
3. E10の電源が入っていることを確認してください。ただし、ドライブモードにはしないでください。
4. BUDS 3アプリケーションを起動し、ユーザーアカウントを使用してログインします。
5. BUDSメニューで「審査」を選択し、PDFレポートを生成します。

または、Buds Light経由／Budsアプリによる検査

PDFレポートには以下の情報が記載されています。

1. E10ドライブユニットのシリアル番号
2. 一次電池のシリアル番号
3. 二次電池のシリアル番号（該当する場合）
4. ドライブユニットのソフトウェアバージョン
5. DESSキーによってトリガーされる電力マッピング（A、B、C、D）は、システムの最後の60分間の動作中に実行されます。
E10。

レース前およびレース後の技術検査は、技術検査官によっていつでもE10のすべての構成部品に対して実施することができます。

規定に定められたファームウェア、DESSキー、またはパワーマッピングを操作したり、使用していないことが判明した競技者は、大会から除外されます。

審査では、以下のチェック項目への準拠を確認する必要があります。

- E10ドライブユニットのシール番号は、このE10ドライブユニットの登録シール番号と一致している必要があります。
そのイベントの出場者。
- E10モーターのシリアル番号は、BUDSレポートのデータと一致している必要があります。
- ドライブユニットのソフトウェアバージョンは、規制で定められたものと同じでなければならない。
- 競技の精査対象要素に使用されるパワーマッピングは、イベント規則で定義されているものと一致していなければなりません。
- ドライブユニットバージョン : 4.1.4.4
- バッテリーバージョン: 2.38

違反が発見された場合、競技者は大会から除外されます。

4. 技術仕様

駆動ユニット

ROTAX社設計、空冷式3相インナーローターモーター。
モーターとインバーターを組み合わせた駆動ユニット。

最大回転数 10,000 (1/分)

冷却システム

空冷式駆動ユニットおよびバッテリーパック

システム電圧

48ボルト



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

認証FIA承認 - 065-

AED-70 および 065-AED-10 IP67注: FIA承認は最大展開電力
7.5kW

までのみ有効です

ブースト機能 :利用可能

(ROTAXによるプリセット) 。運転者が操作します。
時間制限による起動。プリセットされた再充電時間。
調整不可。

後退機能搭載。運転者が操作しま
す。
静止状態でのみ作動可能です。

ステアリングホイールモジュール: LEDス
テータスライト内蔵。
充電状態 (SOC)表示 ブーストボタンリバ
ースボタン

バッテリー容

量 :1.5kWh (1パックあたり)

重量12kg、リチウ

ムイオン電池 (BMS (バッテリー管理システム)内蔵)

充電入力 = 230V 15A / 120V 13A 充電モード = 通常充

電、急速充電、ストレージ充電



TECHNICAL REGULATIONS

MINI MAX / MICRO MAX / E10 MINI
E20 SENIOR / E20 MASTERS

E10 – プラガ – IPKarting

番号	品目	仕様
1	最初のフリー走行ではギアリングが必須です。	フロントスプロケット :18。 リアスプロケット :72歯、「IPK Engineering」の刻印あり。
2	2回目のフリープラクティスから決勝までのギアリングオプション	フロントスプロケット : 18 リアスプロケット :72、73、74、75 歯、「IPK Engineering」の刻印あり。
3	チェーンの長さの種類	イベントでロータックスが提供したチェーンのみが 使用は合法です。チェーンの長さは104です。
4	車高	フロント&リア :シャーシは完全に下げた状態では使用できません。その他の高さ設定はすべて可能です。
5	キャンバーとキャスター	キャンバー :すべての設定が可能 キャスター :キャスターの調整はすべて、上部のキャスター調整ピンのみを使用して行ってください。下部のキャスター調整ピンは、シャーシに付属している標準の状態のままにしてください。 シャーシに標準装備されているキャスターの設定は0°です。 0.5°、1°、2°のオプションのひまし葉が使用可能です。 ひまし葉は常に明確に見えるようにしておかなければならず、覆ったり隠したりしてはならない。
6	アッカーマン設定	すべての設定が許可されています
7	シート固定	すべての固定具はしっかりと固定する必要があります。 IPK社から供給されるアルミニウム製シートプレートは、シートとすべての支柱の間に取り付ける必要があります。
8	車軸ベアリングサポート	いかなる場合でも、シャーシに付属しているメーカー純正のネジ (M8ネジ4本)を使用することが必須です。
9	リアバンパー	垂直方向への移動は許可されているが、水平方向への移動は許可されていない。
10	オプションパーツ	調整可能なステアリングホイールハブ、傾斜した追加プレート1枚、調整可能なフットレストシステム (すべての部品にIPKエンジニアリングのマークが付いている必要があります)。シートパッドキット。

注 :RMC GF 2026技術規則およびその付録に従い、イベントでメーカーから特定のカテゴリ向けに提供される標準コンポーネントのみを使用できます。

----- 技術規則の終了 -----